

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 自立の里

目 次

◎法人本部 1 ページ

◎障がい福祉サービス事業所 大地

生活介護事業 1 ページ

相談支援事業 10 ページ

放課後等支援事業 13 ページ

放課後等デイサービス 16 ページ

◎障がい福祉サービス事業所 大空

生活介護事業 1 ページ

居宅介護事業 10 ページ

短期入所事業 13 ページ

法人本部

《総括》

- (1) 新型コロナウイルスの影響によるサービス休止等により事業活動収入に影響が出た。
- (2) 利用者のグループホーム入居が続き、居宅介護事業、短期入所事業等の事業サービス収入が低下した。
- (3) 大地・大空プロジェクト会議を実施して収支改善の具体策を検討した。
- (4) 既存事業の収益構造改善を目標に、各事業で現状を分析して今後の事業についての数値目標を設定した結果、事業収支が改善した。
- (5) 特別手当の支給内容の変更を行った。
- (6) 各種保険の見直し、経費削減を実施した。

1. 法人事務局の効率的な運営

法人事務局を設置し、法人の諸問題解決に組織的に取り組み、効率的かつ持続的な事業運営を行った。

- (1) 月1回定例会を開催して、法人の意思決定を迅速かつ円滑に行った。
- (2) 大地・大空間の事務・総務業務の役割分担の整理と効率化を図った。
- (3) 社会保険労務士事務所による学習会を定期的実施した。

2. 法人事業全体の収益構造改善

財務状況の分析を行い、事業ごとに、将来にわたって持続可能で発展的な事業の継続を目指した具体的目標を定め、法人全体の収益構造改善に取り組んだ。

- (1) 事業責任者からなる大地・大空プロジェクト会議を実施して、収益構造改善の具体的方策について検討を行い、各自が経営感覚を身に着けるよう決算や収支状況の理解について指導と啓発を行った。
- (2) 高止まりとなっている人件費率を抑えるため、時間外勤務を抑制し、職員の新規採用を控えてパート職員を活用した。
- (3) 日常的な経費削減を行い、事業支出を抑制した。
- (4) 算定可能な加算について検討を行い、報酬に反映することができた。
- (5) 新型コロナウイルスの影響により、生活介護事業の閉所、ヘルパーの利用自粛等の影響があった。
- (6) 生活介護の利用者が多数、グループホームに入居したことにより、居宅介護事業、短期入所事業の収入が低下した。
- (7) 特別手当の支給内容の変更を行った。
- (8) 各種保険の見直しにより経費を削減した。
- (9) 福岡市介護施設等物価高騰対策支援金の申請を行った。
- (10) 社会保険労務士との給与支払い等の委託を廃止し、職員が同業務を行った。

3. 法令などの改正に伴う取り組み

- (1) 障がい者虐待防止のための取り組み

「虐待防止対応規程」に基づき、虐待防止委員会の開催、職員への研修、虐待防止対応責任者及び虐

待防止担当者の設置等、虐待防止のための取り組みを行った。

(2) 安全運転管理者の業務拡充への取り組み

酒気帯びの有無の確認及び記録の保存、アルコール探知機の使用等の義務化に対応した。

(3) 育児休業・育児短時間勤務に関する規則、介護休業及び介護短時間勤務に関する規則の改正を行った。

4. その他

(1) 新型コロナウイルス等、感染防止対策

新型コロナウイルス等、感染予防対策を継続して、利用者の皆様が健康に安心してサービスを利用できるよう対策を講じた。抗原検査を職員全員に定期実施して感染対策を行った。

(2) 防災対策の強化

消防計画、非常災害対策計画、避難確保計画等に基づき、消防教育、防災訓練、防災意識の向上等の取り組みを計画的に実施して、防災対策の強化に取り組んだ。

(3) 2024年度に義務化されるBCP（事業継続計画）の研修を受講し、作成についての検討を行った。

(4) ホームページによる情報発信の強化

定期的にホームページの更新を行い、事業の実施状況、各種イベント、職員募集、利用者の作品等、法人の取り組み等について情報の発信を行った。

5. 評議員会 開催状況

回数	開催日	議 題
定時 評議員会	6月23日	(1) 審議事項 ・ 令和3年度事業報告及び収支決算について (2) 報告事項 ・ 令和4年度事業計画及び予算について

6. 理事会 開催状況

回数	開催日	議 題
第1回	6月 2日	(1) 審議事項 ・ 第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について ・ 第2号議案 評議員候補者の推薦について ・ 第3号議案 令和4年度定時評議員会の招集について (2) 報告事項 ・ 職務執行状況報告（理事長） ・ 職務執行状況報告（業務執行理事） ・ 苦情解決に係る第三者委員等の委嘱について
第2回	11月 9日	(1) 審議事項 ・ 第1号議案 育児休業・育児短時間勤務に関する規則の改正について ・ 第2号議案 介護休業及び介護短時間勤務に関する規則の改正について (2) 報告事項 ・ 職務執行状況報告（理事長） ・ 職務執行状況報告（業務執行理事） ・ 保険の見直しについて
第3回	3月24日	(1) 審議事項 ・ 第1号議案 令和4年度補正予算（案）について ・ 第2号議案 令和5年度事業計画（案）について ・ 第3号議案 令和5年度収支予算（案）について ・ 第4号議案 給与規程の改正について ・ 第5号議案 非常勤職員就業規則の改正について ・ 第6号議案 役員等賠償責任保険契約について ・ 第7号議案 大地及び大空の管理者の選任について ・ 第8号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について

7. 社会福祉法人等指導監査

実施日	令和5年2月1日（提出）
実施者	福岡市保健福祉局高齢社会部高齢社会政策課監査指導係
結果	指導監査（法人運営に係る監査）を実施しなかったため、指導監査ガイドライン（保健福祉局所管法人点検用）」による点検を実施し、必要書類の提出を行った。

8. 寄贈寄附

(1) 寄附金

区 分	件数（件）	金額（円）
本 部	3	3,150,000
大地	4	220,000
大空	2	200,000
合 計	9	3,570,000

(2) 寄贈

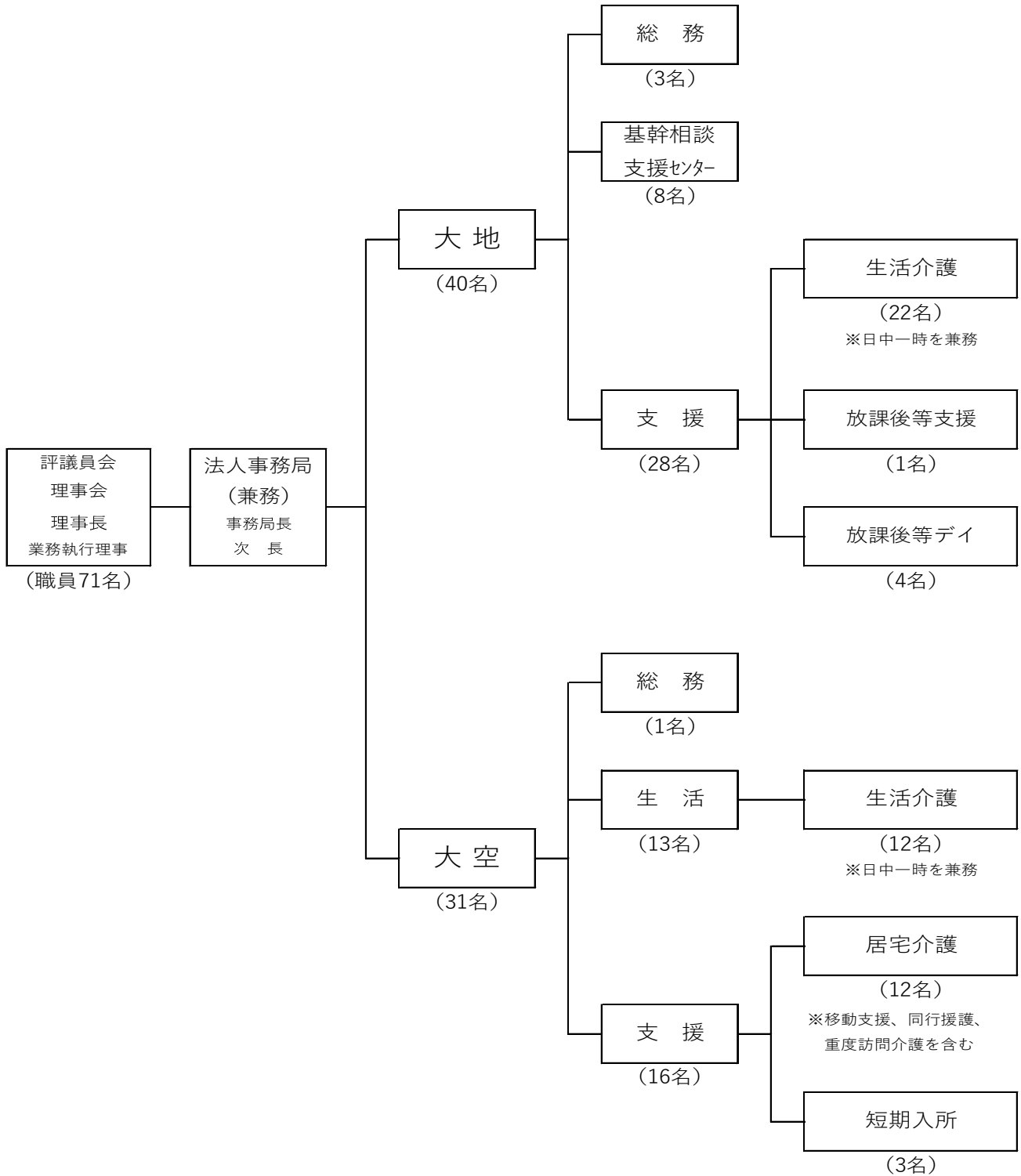
区 分	件数（件）	備品
大地	3	クリスマスケーキ、ちりめん押絵、野菜クレヨン

9. 職員の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 組織図

社会福祉法人 自立の里 組織図

※職員数（パート除く）



(2) 職員の性別

性別	人数 (人)	率 (%)
男性	31	46%
女性	36	54%
合計	67	100%

(3) 職員の年齢構成

大地		
年齢 (歳)	人数 (人)	率 (%)
20～29 歳	20	30%
30～39 歳	24	36%
40～49 歳	10	15%
50～59 歳	10	15%
60～69 歳	3	4%
合計	67	100%

(4) 職員の勤続年数

大地		
勤続年数 (年)	人数 (人)	率 (%)
0～4 年	21	31%
5～9 年	28	42%
10～14 年	13	19%
15～19 年	4	6%
20～24 年	1	2%
合計	67	100%

10. 利用者の状況 (生活介護事業 令和4年3月31日現在)

(1) 利用者の性別

大地		
性別	人数 (人)	率 (%)
男	23	49%
女	24	51%
合計	47	100%

大空		
年齢 (歳)	人数 (人)	率 (%)
男	14	64%
女	8	36%
合計	22	100%

(2) 利用者の年齢

大地		
年齢	人数 (人)	率 (%)
10～19 歳	2	4%
20～29 歳	20	43%
30～39 歳	9	19%
40～49 歳	12	26%
50～59 歳	4	8%
合計	47	100%

大空		
年齢 (歳)	人数 (人)	率 (%)
10～19 歳	2	9%
20～29 歳	14	64%
30～39 歳	4	18%
40～49 歳	2	9%
50～59 歳	0	0%
合計	22	100%

(3) 利用年数

大地		
利用年数	人数 (人)	率 (%)
0 年～5 年	11	23%
6 年～10 年	13	28%
11 年～15 年	6	13%
16 年～20 年	2	4%
21 年～25 年	4	9%
26 年～30 年	11	23%
合計	47	100%

大空		
利用年数 (年)	人数 (人)	率 (%)
0 年～5 年	5	23%
6 年～10 年	17	77%
11 年～15 年	0	0%
16 年～20 年	0	0%
21 年～25 年	0	0%
26 年～30 年	0	0%
合計	22	100%

(4) 身体手帳

大地		
身体手帳 (級)	人数 (人)	率 (%)
1 級	38	81%
2 級	5	11%
3 級	2	4%
4 級	1	2%
5 級	0	0%
6 級	0	0%
無	1	2%
合計	47	100%

大空		
身体手帳 (級)	人数 (人)	率 (%)
1 級	18	82%
2 級	0	0%
3 級	2	9%
4 級	0	0%
5 級	0	0%
6 級	0	0%
無	2	9%
6 級	22	100%

(5) 療育手帳

大地		
療育手帳	人数 (人)	率 (%)
A	0	0%
A1	18	38%
A2	17	36%
A3	7	15%
B1	0	0%
B2	1	2%
無	4	9%
合計	47	100%

大空		
療育手帳	人数 (人)	率 (%)
A	0	0%
A1	15	68%
A2	3	13%
A3	1	5%
B1	1	5%
B2	0	0%
無	2	9%
合計	22	100%

(6) 障がい支援区分

大地		
区分	人数 (人)	率 (%)
区分 1	0	0%
区分 2	0	0%
区分 3	0	0%
区分 4	1	2%
区分 5	7	15%
区分 6	39	83%
合計	47	100%

大空		
区分	人数 (人)	率 (%)
区分 1	0	0%
区分 2	0	0%
区分 3	0	0%
区分 4	0	0%
区分 5	2	9%
区分 6	20	91%
合計	22	100%

令和4年度

社会福祉法人 自立の里

障がい福祉サービス事業所 大地

事業報告

障がい福祉サービス事業所 大 地

〈総 括〉

令和4年度は利用者1名が退所し、新規利用者が新たに3名入所した。特別支援学校の体験実習や外部の相談依頼などを引き受けてきたことで新規利用に繋げることができた。利用者やその家族の高齢化に伴い、グループホームへの入所や医療的ケアが必要となった利用者が大地では複数名出たが、施設の看護師や関係機関と素早く連携をとり、利用者が新たな環境から大地に円滑に通所できる環境を整えることができた。また、グループホームと保護者の意思疎通が円滑になされるよう相談支援員専門員と連携し問題解決にあたった。令和4年度も新型コロナウイルスによる感染症の影響により、外出やイベント実施に制限がある中、ライブや施設内で取り組める様々な代替イベントや活動を通して利用者の笑顔を引き出した。

博多区第2障がい者基幹相談支援センターは新任研修、ケース検討会議など人材育成に取り組んだ。計画相談を主に担う職員の確保ができなかった。地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築は博多区部会、指定特定相談支援事業所ネットワーク会議、業種ごとのネットワーク構築、博多区精神保険福祉ネットワーク会議などに取り組んだ。地域福祉の基盤づくりでは広報誌を年4回発行、民生委員児童委員協議会に参加、地域生活支援拠点等の整備に取り組んだ。博多区と東区の基幹相談支援センターの連携により重心・医ケアネットを実施した。ICTなどの活用と働きやすい環境づくりに取り組んだ。

放課後等支援事業は、利用者確保のための学校及び保護者との連携強化、有意義な活動の場の提供、サービスの質の向上等に取り組んだ。サービスの質の向上として放課後等デイサービスを兼務スタッフとして配置した。

放課後等デイサービスは、黒字化を目指した取り組みとして、毎週土曜日に開所し、1日平均利用者数4.3人を達成した。コロナ禍で可能な限りサービス担当者会議、リハビリ見学を行い、情報共有を行った。活動内容の充実として密にならない公園等の外出を行った。ハロウィン、クリスマス等イベントを行った。広報力・対外関係との繋がりの強化を行い、Instagramやホームページの更新を定期的実施した。

生活介護

1. 親なきあとを見据えた自立支援

- (1) 利用者自身の行動力や発信力を養うために、ウォシュレットを設備し、自分で操作することを促したり、自分の写真や名前をロッカーに貼るなどして、利用者自身が私物管理への意欲を高められるよう、施設内の環境整備に努めた。
- (2) 利用者の自立心を養うため、排泄介助や水分補給など自分の希望を職員に遠慮なく伝えられるよう、利用者に必要な声掛けを行うとともに、利用者の身体機能に合わせた適切な食事・トイレ介助等を行った。
- (3) 家族の事情等によりグループホームや施設への入所が決まった利用者に対しては、これから本人に起きることや環境の変化などを本人が分かる言葉で説明し、精神面へのサポートを中心に支援を行ってきた。入所後は本人の抱える不安やニーズなどの聞き取りを行いながら、必要に応じてケアを行った。

2. 家族や各関係機関との連携力

家族や相談支援員、入所先と連携を図り、本人や家族の悩み、不安解消に努め、安定した通所生活に繋げた。また、ヒアリングや日々の中での変化などについて事業所等と共有し、その後の支援やケアに繋げた。

3. 個別支援計画の充実

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや外出等は縮小して行った。そのような中であっても、他施設や短期大学の学生と園芸や映像を通して交流することで、施設外の人との関わり方やコミュニケーションの仕方を学び楽しんだ。

4. 職員の指導・育成

職員の業務負担を減らすために業務改善に取り組むとともに、Eラーニング研修を取り入れた。また、ZOOM 等オンラインで実施される研修に積極的に参加させることにより、各職員の課題に応じた指導・育成を行った。

5. 地域交流及び啓発

令和4年度も新型コロナウイルスにより施設内外のイベントが中止となり、職員と利用者を含め地域との交流は叶わなかった。しかし、施設近隣の住民、企業と地域の清掃活動等で交流を持つことでアルミ缶などの有資源の回収増加に繋げることができた。

6. 利用者の増員・利用率の向上

令和4年度は利用者が2名増えた。新型コロナウイルス等による閉所が何度か発生したことなどにより利用率は昨年度より若干減少したものの、平均利用者数は微増した。

7. 新型コロナウイルス感染症への対策

施設内外での感染症防止対策として施設外からの来訪者に対する検温と記録を徹底した。また、県内の感染者数をもとに嘱託医の助言を得て、イベントや外出場所の制限など慎重な判断を行った。さらに、陽性者発生事案に対しては即時に対応することで、感染拡大を防止した。

【具体的な取り組み】

- (1) 送迎車内消毒(使用毎)、施設内消毒(定期、朝夕清掃時)をした。
- (2) アルコール消毒と次亜塩素酸ナトリウムで次亜塩素酸水を精製し、消毒液として使用した。
- (3) アルコール及び次亜塩素酸ナトリウムを使用した清掃(床・テーブルなど)をした。

新型コロナウイルス感染後の連携と判断

- (4) 市役所や病院、保健所などと連携し、感染者の体調や自宅待機期間などの把握や判断を行った。
- (5) 看護師によるPCR検査可能な病院(クリニック)の把握と嘱託医への協力依頼を行った。
- (6) 施設内の全体消毒と排煙窓などを活用した換気を強化した。
- (7) 利用者及び家族への周知を迅速に行い、自宅待機や検査などの協力体制を構築した。
- (8) メールシステムやICTを活用した周知を図った。
- (9) 他機関(他施設、相談支援事業所)との連携し情報共有した。
- (10) 感染の疑いのある人へ迅速な抗原検査やPCR検査を実施した。

参考資料



【スイーツコンテストにて】
司会を務める日永田様と平川様



【発表会】
他グループの制作した動画をじっくり鑑賞中



【展覧会】
アートや絵画に興味津々です



【ハロウィン】
自由に仮装を楽しむ藤島様・坂田様・養父様



【デイキャンプ】
デイキャンプを楽しむ平田様



【パラリンアートコンテスト】
塚本様受賞 トヨタレンタリース福岡賞 受賞

<令和4年度 地域交流イベント>

イベント名	開催月日	内 容
西日本短期大学との交流授業	11月	オンラインによる西日本短期大学の学生や先生方との交流授業。西日本短期大学側と交流し、障がい者への理解や関係性の構築を行った。

7. 月別利用実績 (定員40人)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数 (日)	22	22	22	23	23	21
契約者数 (人)	47	47	47	46	46	46
平均利用者数 (人)	38.1	39.0	38.9	36.7	36.5	34.1
利用率 (%)	81.0	83.1	82.8	79.9	79.3	74.1

項 目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数 (日)	23	22	22	22	20	23
契約者数 (人)	47	47	47	47	47	47
平均利用者数 (人)	39.4	38.6	37.3	37.9	38.2	36.0
利用率 (%)	83.9	82.1	79.3	80.6	81.3	76.7

8. 年度別利用実績

項 目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開所日数 (日)	266	265	265
契約者数 (人)	46.8	45.1	45.6
平均利用者数 (人)	37.6	37.3	38.3
利用率 (%)	80.3	82.8	84.0

9. 土曜等のイベント状況

実施日	名 称	内 容	利用者の参加者 (人)
4月9日(土)	歓迎会	お菓子を食べながら新しい利用者の紹介や歓迎会を行った。	39/45
5月28日(土)	デイキャンプ	大地の敷地内でテントやタープを立て日中BBQやキャンプを楽しんだ。	39/45
7月23日(土)	展覧会	テーマを決めて制作した利用者の作品を大地内に展示した。	36/45
8月20日(土)	夏祭り/サマコンサート	施設内の人だけで屋台などを開き、祭りの雰囲気や季節感を楽しむ。午後は演奏者を呼んでコンサートを楽しんだ。	38/45

実施日	名称	内容	利用者の参加者(人)
10月15日(土)	ボッチャ大会 2022	施設内でボール競技である「ボッチャ」を使用した大会を開催した。	34/45
10月29日(土)	ハロウィン	皆で仮装し、ミニゲームを通してお菓子を貰いながらハロウィンを楽しんだ。	38/45
11月19日(土)	発表会	テーマを決め、各グループで出し物や発表を行い、皆と交流を図った。	36/45
12月26日(月)	クリスマス会	クリスマスビンゴ大会を行い、保護者会から貰ったプレゼントを交換した。	35/45
1月7日(土) 1月11日(水)	新年コンサート 20歳の祝い	演奏者を呼び、コンサートを実施した。施設で20歳を迎える利用者を祝う会を行った。	35/45 39/45
2月25日(土)	スイーツコンテスト	各グループでスイーツを作り競うスイーツコンテストを実施した。	40/45
3月18日(土)	お疲れ様会	1年間おつかれさまを込めて、施設内の人と交流し楽しんだ。	34/46

※20歳の祝いは対象者の都合により1月11日(水)に実施。

※クリスマス会は雪の影響により12月26日(月)に延期。

10. 健康管理実施状況

実施日	内容	実施者	人数(人)
11月15日(火)	利用者健康診断 (診察・問診表による状態把握、健康診断)	徳永医師 (嘱託医)	利用者 47名
11月15日(火)	インフルエンザ予防接種	徳永医師 (嘱託医)	利用者 24名 保護者他 2名 職員 2名
11月8日(火) ～11月22日(火)	インフルエンザ予防接種	がんこクリニック	職員 50名
11月25日(金)	職員健康診断	福岡労働衛生研究所	職員 41名
1月16日(月) ～1月18日(水)	腰痛検査	伊藤整形外科 伊藤医師	職員 27名

※職員数は大地で受けた人数をすべて含む。

1 1. 利用者個別指導実施状況

(1) 動作法 講師：鼻地 勝人 氏

日 付	グループ
4月19日(火)	A・C・D
5月24日(火)	B・C・E
6月21日(火)	B・C・D
7月19日(火)	A・C・D
11月22日(火)	A・C・E
12月20日(火)	B・C・D
2月22日(火)	A・B

(2) 作業療法(OT) 講師：原田 靖子 氏

日 付	グループ
4月 7日(木)	A・C・D
5月12日(木)	A・D・E
6月 9日(木)	C・D・E
7月 7日(木)	B・C・D
8月 4日(木)	A・D・E
9月 8日(木)	A・C・E
10月 6日(木)	A・B・D
11月10日(木)	A・C・E
12月 8日(木)	C・C・D
1月12日(木)	B・E
2月15日(木)	A・A・D

1 2. 派遣研修実施報告

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
5月25日(水) 6月 2日(木)	社会福祉施設役職員研修 (新任職員研修)	福岡県社会福祉協議会	2
7月 6日(水) 7月12日(火)	ストレスマネジメント研修 (中堅職員コース)	福岡県社会福祉協議会	2
7月13日(水) 7月14日(木)	相談支援従事者初任者研修	保健福祉振興財団	3
9月16日(金)	福岡県サービス管理責任者 更新研修	保健福祉振興財団	1
10月19日(水) 10月20日(木)	リスクマネジメント研修 指導者・管理職員コース	福岡県社会福祉協議会	1
11月11日(金)	「報・連・相」強化研修	福岡県社会福祉協議会	1
11月24日(水) ～12月22日(木)	役職者人権研修 人権テーマ「ハラスメント」	福岡市人権問題企業啓 発推進会議	8
11月 1日(火) 11月25日(金)	アンガーマネジメント研修	福岡県社会福祉協議会	2
12月 2日(金)	記録技術研修(障害児者分野) 実践コース	福岡県社会福祉協議会	1
12月 8日(木)	メンタルヘルスケア研修 (一般職コース)	福岡市社会福祉協議会	1
12月 9日(金)	メンタルヘルスケア研修 (管理職コース)	福岡市社会福祉協議会	1

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
12月15日(木)	利用者家族とのコミュニケーション力向上研修	福岡県社会福祉協議会	1
12月23日(月) 12月24日(火) 12月27日(月)	福岡県相談支援従事者現任研修 (更新者コース)	保健福祉振興財団	1
2月7日(火)	説明力向上研修	福岡県社会福祉協議会	1
2月13日(月)	福祉サービス苦情解決従事者研修会	福岡県社会福祉協議会	1
2月16日(木) 2月22日(水)	業務改善研修	福岡県社会福祉協議会	2
3月1日(水) 3月8日(水)	業務目標の設定・管理・達成研修	福岡県社会福祉協議会	2

1.3. 内部研修

【新入社員研修】

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
7月4日(月)	新入職員研修① 職員処遇/庶務関係の諸手続き/収入支出	栗田主任(大地)	6
7月7日(木)	新入職員研修② 障がい者福祉の歴史と制度/法人設立の経緯・歴史	取違施設長(大空) 石橋課長(大地)	6
7月14日(木)	新入職員研修③ 障害者総合支援法のサービス/自立の里の事業概要	石橋課長(大地) 久保田課長(大空) 長澤センター長(第2基幹)	5
7月20日(水)	新入職員研修④ 医療面での障がい者の特性・注意点等	大楠看護師(大地) 境看護師(大空)	6

【職員研修】

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
6月17日(金)	支援結果とヒヤリハットの情報共有 ニーズへの対応や声掛け (Eラーニング研修)	内部講師	23
6月22日(水)	利用者の帰宅前のチェックと送迎車内での利用者への配慮 (Eラーニング研修)	内部講師	23
6月24日(金)	送迎車のワイヤーの取扱いとトラブル時の対応 (動画による Eラーニング研修)	内部講師	23

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
7月 6日 (水)	グループホームや入所先と施設の連携 (グループ研修)	内部講師	8
7月14日 (木)	スムーズな社内連絡や報告方法 (Eラーニング研修)	内部講師	23
7月20日 (水)	個別支援計画達成状況報告書の作成のポイント (Eラーニング研修)	内部講師	23
7月21日 (木)	個別支援計画達成状況報告書の作成のポイント2 (Eラーニング研修)	内部講師	23
8月18日 (木)	ヒヤリハット・支援のやりがい (Eラーニング研修)	内部講師	23
8月20日 (土)	個人情報の取り扱い ヒヤリハット (Eラーニング研修)	内部講師	23
8月25日 (木)	事例から学ぶヒヤリハット (Eラーニング研修)	内部講師	23
8月30日 (火)	業務連絡や報告をする上での注意点 (Eラーニング研修)	内部講師	23
9月 9日 (金)	新型コロナウイルスに関する利用者や家族 への質疑応答 (Eラーニング研修)	内部講師	23
9月12日 (月)	ヒヤリハット研修 勤務上での注意点 (Eラーニング)	内部講師	23
9月22日 (木)	コロナや病気等による中・長期欠席後の通 所再開利用者の支援 (Eラーニング)	内部講師	23
9月28日 (水)	コーチング UP 研修 (Eラーニング)	内部講師	23
10月19日 (水)	ヒヤリハット研修 車いすのフットサポートの正しい使い方	内部講師	23
11月14日 (月)	利用者家庭との連携 (Eラーニング)	内部講師	23
11月19日 (土)	ヒヤリハット研修 他事業所で起きた事故から学ぶ (Eラーニング)	内部講師	23
12月28日 (水)	ヒヤリハット研修 職員の経験から学ぶアクシデント時の対応 (Eラーニング)	内部講師	23

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数
3月22日(水)	送迎や外出など、送迎車使用時における車イス固定ワイヤー等のチェック強化と利用者それぞれの車イスの違いを知る。 (全体研修)	内部講師	23

※Eラーニング研修…インターネットを通じて学習や研修を行うことです。スマートフォンなど身近なデジタル機器を利用して受講します。

14. 消火・通報・避難訓練

日程	訓練種別	参加人数(人)
5月26日(木)	総合訓練 (水害・通報及び避難誘導)	利用者 36名 職員 33名
6月29日(水)	総合訓練 (部分訓練・消火・通報及び避難誘導)	利用者 34名 職員 34名
10月21日(金)	総合訓練 (部分訓練・消火・通報及び避難誘導)	利用者 39名 職員 30名

15. 支援活動参観

※ 別紙「令和4年度 支援参観ご家族アンケート」参照

16. 利用者アンケート

※ 別紙「令和4年度 利用者満足度調査アンケート」参照

17. 日中一時支援

前年度の月平均利用件数1件、年間利用件数は13件に比べて令和4年度の月平均利用件数は1.6件、年間利用件数は19件となり増加した。

月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
市内 在住	障がい者	0	1	3	2	1	1	2	1	2	1	1	2	17	19
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市外 在住	障がい者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

相談支援

1. 総合相談に対応できる人材の育成及び専門性の向上

(1) 委託相談

- ・異動1年目職員に対する新任研修を実施した。
- ・ケース検討会議を週1回程度開催し、複数の目で事例を協議し、検証することを通して、公平中立な相談支援を担保した。

(2) 計画相談

指定特定相談支援事業所への移管を勧めた。

サービス等利用計画作成の実績（人）													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	6	8	3	4	7	5	8	13	8	9	8	7	86
R3	4	9	11	11	7	9	6	15	10	9	10	10	111
R4	6	10	4	5	5	3	7	8	10	8	5	5	76

(3) 地域相談支援

精神科病院や入所施設等から地域移行へ働きかけについては、措置入院後のフォローを行った。

2. 地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築

(1) 博多区部会

委員：福祉・介護保険課、健康課、博多高等学園、南福岡特別支援学校、博多障がい者フレンドホーム、社会福祉協議会、福岡市発達障がい者支援センター

オブザーバー：東福岡特別支援学校、福岡市基幹相談支援センター

実施日	名称	主な協議内容
5月19日	第1回	地域課題「本人に困り感はないが、医療拒否がありハイリスクの方の支援」
7月21日	第2回	相談支援ネットワーク会議『いきいきセンターとの連携』を開催
9月15日	第3回	精神保健福祉ネットワーク会議『大人の発達障がい』を開催
11月17日	第4回	はかた暮らしネットワーク会議：事例を基に『支援マップづくり』
1月19日	第5回	地域課題「発達障がいのある子どもの支援体制」
3月26日	第6回	地域課題「障がい者の就労に関わる環境について」

(2) ネットワーク構築

① 相談支援事業所ネットワーク会議

相談支援ネットワーク会議を3回実施し、地域の指定特定相談支援事業所のスキルアップと人材育成を行った。

実施日	名称	内容
8月3日	第1回	いきいきセンターとの連携
10月19.26日	第2回	事例検討会
3月2日	第3回	自立生活援助の活用と実際

② 業種ごとのネットワーク構築

住まいや生活に関わるさまざまな機関が交流する機会として、生活介護、短期入所、居宅介護、グループホーム、相談支援を対象に研修会を実施した。

実施日	名称	内容
6月15日	第1回博多っ子★未来ネットワーク	相談支援専門員、スクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会の意見交換会
11月24日	はかた暮らしネットワーク会議	支援マップづくり
2月10日	第2回博多っ子★未来ネットワーク	ゆうゆうセンター講師「行動分析」

③ 精神保健福祉ネットワーク会議

実行委員会にて、精神保健福祉ネットワーク会議の企画立案を行った。

実施日	名称	内容
9月5日	精神保健福祉ネットワーク会議	大人の発達障害の理解と地域支援を考える

3. 地域福祉の基盤づくり

(1) 啓発活動

広報誌を年4回発行。校区担当制により民生委員児童委員協議会に参加して、地域で抱える課題の掘り起こしとその解決に努めた。また、令和5年度より地域生活支援拠点等の整備の促進や機能の充実に向けて関係機関との連携を図るため、地域生活支援拠点検討部会に委員として参加した。

(2) 東と博多の重心・医ケアねっと (SEねっと)

重心・医ケア児者は、日常的に喀痰吸引や褥瘡の管理などの医療的ケアが必要であり、急変リスクが高いにもかかわらず、対応できる事業所が少なく、ヘルパー確保に苦慮することが多々ある。その状況に危機感を持った東区と博多区の事業所をきっかけとし、事業所を組織化し、SEねっと‘として活動を開始した。

(3) 職員の教育・研修の充実

実施日	研修名 及び テーマ	参加人数(人)
4月26日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修	3
5月13日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修	3
5月30日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修	3
6月13日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修	3

実施日	研修名 及び テーマ	参加人数(人)
6月22日	福岡市障がい者虐待防止研修	3
8月6日	社会的ひきこもりに関する連携支援研修会	1
8月19日	福岡コージネット2022年度専門研修会	1
7月21日-8月21日	精神保健福祉従事者研修会	3
9月12日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修	2
9月13日-10月4日	ひきこもり支援者研修会	1
9月20日-27日	強度行動障がい支援者養成研修	1
10月11日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修	2
10月22日	全国基幹相談支援センター強化研修	1
10月22日-28日	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	1
11月1日-21日	相談支援従事者初任者研修	1
11月14日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修	2
11月22日	福祉用具体験セミナー	2
12月9日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修	2
1月13日	ひきこもり連絡会議	2
2月24日	多機関協働の促進に向けた研修会	1
2月24日	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	1
2月25日	障がい者相談支援ネットワークふくおか合同研修会	2
2月28日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修	3
3月1日、2日	福岡県相談支援従事者専門コース別(人材育成)	1
3月15日	スーパービジョン研修	2

(4) ICT等の活用と働きやすい環境づくり

- ・令和4年4月導入の相談支援システムにより業務の効率化・標準化、業務負担の軽減を図った。
- ・オンライン研修や会議を開催し、関係機関との連絡方法を工夫し、災害や感染症への対応力を強化した。
- ・相談支援経験のない職員が異動により配置されたため、職員のメンタルヘルスケアに配慮が必要であった。

放課後等支援（ルームみなみ）

1. 利用者の確保のための学校及び保護者との連携強化

- (1) お迎え時の保護者との情報交換を密にし、利用者の心と体の状態や家庭での生活の様子など保護者等とのコミュニケーションの促進に努めた。
- (2) 学校からの要請により、ルーム事業における利用者の活動の様子やスタッフと保護者等とのコミュニケーションの実際などについて、意見交換を行った。
- (3) 学校内への広報誌の掲示、学校入学説明会における当事業の周知、「あんしんメール」への登録による学校からの諸連絡の伝達を行ってもらうなど、学校との連携強化に努めた。
- (4) 入室時の学校担任との引継ぎを確実にを行った。担任教諭との個別の意見交換も増え、ルームでの様子を聞きに来るケースも増えた。
- (5) 保護者の会役員との話し合いを持ちながら、会の活動への支援を行った。

2. 有意義な活動の場の提供

- (1) 外出を控え、各月の壁面飾りへの取組みの充実を図った。
 - ア 毎月、壁面飾りのテーマを発表し、利用者の製作活動を行った。
 - イ 壁面飾り担当職員を配置（パート支援員）し、各月のテーマ設定や利用者への具体的な作品等の製作支援を行った。
- (2) 利用者の健康状態を配慮して、3密を避けての学校敷地内の散策や近隣公園への散歩を実施した。
※月に1回程度
- (3) 保護者の会から利用者全員（保護者の会会員9名）へ進級祝い品の贈呈があった。（3月）
- (4) 各月のイベント等実施

実施日（期間）	内 容
4月	お花見（壁面飾り）
5月	こいのぼり（壁面飾り） 御笠川こいのぼり見学（イベント）
6月	梅雨、あじさい（壁面飾り）
7月	七夕（短冊づくり）、水遊び
8月	海、花火、夏休み（壁面飾り）、夏休みの宿題（自由研究）
9月	お月見（壁面飾り）
10月 10月28日	ハロウィン（壁面飾り） ハロウィンパーティー（イベント）
11月	食欲の秋、読書の秋（壁面飾り）
12月 12月17日	クリスマス（壁面飾り） クリスマスコンサート（荒天のため中止）
1月4日から	書初め（壁面飾り）
2月 2月4日	節分、バレンタインデー（壁面飾り）、 豆まき（イベント）

実施日（期間）	内 容
3月	ひな祭り、ホワイトデー、卒業、春休み（壁面飾り） 進級祝い（保護者の会）
3月2日	南福岡特別支援学校 小・中学部卒業式
3月14日	南福岡特別支援学校 高等部卒業式

3. サービスの質の向上

- (1) 法人内の他事業（放課後等デイサービス）の理学療法士を兼務スタッフとして配置し、利用者の移乗、排せつ及び手指を使った創作活動における介助方法や活動内容の手順の見直しを行った。
- (2) 利用者のサービス計画作成事業者（相談員）と意見交換及び本事業のPRを行った。
※実利用者8名のうち4名で実施
- (3) 利用者のサービス計画にかかるモニタリング等の会議に参加し、本事業以外の時間帯での本人の様子やサービスの内容について情報交換を行った。※実利用者8名のうち3名で実施
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、業務手順（環境調整、清掃・消毒手順等）の見直しを行った。
- (5) サービス提供前後のスタッフ打合せ時に、介護技術及びコミュニケーション手法に基づく意見交換を実施した。また、希望するスタッフに業務手順等の個別指導を行った。

4. その他の実施事業

(1) 新型コロナウイルス感染症等の予防及び緊急時の対策の継続

ア 毎日の業務開始時に、感染症予防に関する注意事項の確認を行い周知徹底を図った。

- ① 「一作業一手洗い」、職員のマスクの常時着用、個人用手指消毒液の携行
- ② 入室者への検温及び手指消毒、発熱者等の入室不可
- ③ 室温、湿度、花粉、PM値などの管理、1時間おきの換気
- ④ 活動時のソーシャルディスタンスの確保、部外者を招いてのイベントの一部自粛
- ⑤ 生活備品（コップ、皿、タオル等）の共有不可（私物の持参推奨）

イ 市のガイドラインに基づき、全職員へのスクリーニング検査（抗原検査）を毎週実施した。

ウ 利用者及び職員の陽性者または濃厚接触者への対応等について、市主管課が定めた「放課後等支援事業運営フロー【運営法人版】」に基づき、開所、閉所にかかる迅速な情報提供及び体調確認等のアフターケアを行った。※新型コロナウイルスに関連した閉所期間・・・なし

エ 市主管課からの補助金を活用し、マスクや消毒用アルコール等の衛生物品の確保に努めた。

(2) 会議・研修への参加

- | | |
|----------------------------|------------|
| ア 運営法人連絡会議[市主管課及び運営法人の代表者] | 年2回（6月、2月） |
| イ 支援部会[各放課後等支援事業の業務遂行責任者] | 年6回（偶数月） |
| ウ 法人責任者会議 | 週1回 |
| エ 虐待防止委員会・研修会、身体拘束適正化委員会 | 年1回（12月） |

(3) 防災訓練の実施（法人と合同）

- ア 避難訓練（火災） 年1回（5月）

- イ 水害対策訓練 年1回(6月)
- (4) 業者による消毒、室内清掃及びワックス掛け 年1回(2月)
- (5) 設備等に関する法定点検等の実施
 - ア 消防設備点検(年1回)
 - イ エアコン、プロパンガス定期点検(年1回)
- (6) 電話回線のデジタル化工事(市主管課実施/10月)
- (7) 職員の健康管理に関する行事/法人実施
 - ア 健康診断(11月)、腰痛検査(1月)
 - イ インフルエンザ予防接種(11月)
 - ウ ストレスチェック(12月)
 - エ 新型コロナウイルスワクチン接種(10月~12月) ※各職員にて実施
 - オ 抗原検査(職員全員/週初めの勤務前)

6. 利用実績【年間利用延べ人数：807人/前年比：-161人(-16%)】 単位：人

項目\月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数(日)	290	25	23	26	25	25	23	25	24	24	22	22	26
利用人数(人)	807	60	65	70	82	108	54	68	65	60	56	47	72
※キャンセル(回)	109	27	1	5	8	19	12	0	11	9	9	4	4
1日平均利用数(人)	2.8	2.4	2.9	2.7	3.3	4.4	2.4	2.8	2.8	2.5	2.6	2.2	2.8

※利用人数及び1日の平均利用数にはキャンセルを含まない。

7. 利用者の契約状況【契約者数：13人/本年度増減なし ※高等部卒業生なし】 単位：人

項目/学部・性別	合計		小学部		中学部		高等部	
	男	女	男	女	男	女	男	女
契約者数	6	7	3	5	2	2	1	0
実利用人数	5	4	2	2	1	2	1	0

※実利用人数とは、1年間に1回以上利用した方の数

※参考 単位：人

項目\年度	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28
開所日数(日)	290	290	293	278	289	291	288
契約者数(人)	14	18	18	16	18	23	34
利用人数(人)	807	968	950	1,071	976	1,425	1,697
※キャンセル(回)	109	144	64	126	91	135	-
1日平均利用数(人)	2.8	3.4	3.2	3.6	3.3	4.9	5.8

※キャンセル数は、1日平均利用数に含まない

1. 黒字化を目指した取り組み

- (1) 収支改善の目的で令和3年度の途中より毎週開所を実施したことにより本年度は年間を通じて土曜開所を実施した。(年間43日開所→年間84日開所)それに伴い、過去最多の延べ利用者数(前年比19%増の年間延べ1,227人)となった。
- (2) 保護者からの利用ニーズ増加により、一人当たりの週の利用回数が上昇し定員満了となる日が増加した。
- (3) 計画相談事業所や他放課後等デイサービスと連携を図ってきたことにより、新規利用希望者の紹介を受け、新年度に新たに4名の利用者獲得へと繋がった。

2. 支援力の向上

- (1) 昨年度に引き続き、コロナ禍の影響で対面実施の面談や会議は開催を控える傾向が続いたことで、利用者に関する情報収集が難しい時期もあったが、年度末頃より次第に緩和されるようになり、書面以外でのサービス利用担当者会議の実施やリハビリ先への見学の機会が増え、その際に得た利用者支援に関する情報を職員間で共有することができた。
- (2) 虐待防止研修や安全運転講習など職員の業務内容に沿った内部研修や、有資格や在籍期間に応じた外部への研修へ、定期的に受講を行うことができた。

3. 活動内容の充実

- (1) コロナウイルスの感染拡大により外出を控えていたが、年度末頃より感染状況が落ち着いてきたことあり、徐々に再開した。春休み期間は密にならない屋外の公園を中心にお出かけを実施し、楽しむことができた。
- (2) ハロウィンやクリスマスなど季節に応じた飾りの作成やイベントごとに家庭へ持ち帰る作品作りに取り組んだ。制作物に関する情報はSNS等を活用しながら調べ、準備から完成までのスケジュールを職員間で共有し、計画的に進めることができた。

4. 広報力・対外関係との繋がりの強化、

- (1) コロナウイルスの感染拡大により、夏頃から秋口にかけて放課後デイにおいても閉所日を設けたこともあった。それにより対外関係への連携を図る機会を設けることが調整から難しい状況が続いたが、年度の後半からコロナに関する規制の緩和が進み始めたこともあり、徐々に対外関係との交流の再開が始まってきている。
- (2) Instagramやホームページの更新を定期的実施した。

5. 児童分野の業務連携

- (1) 兼務の実施を行い、放課後等支援事業の保護者からも機能訓練職員(P.T)の連携が図れていることに関して肯定的に意見を聞くことができた。

4. 利用実績【年間利用延べ人数：1227人／前年比：196人（+19%）】 単位：人

項目\月	平均(昨年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	287(279)	25	21	26	25	26	23	25	24	23	21	22	26
利用人数	102(86)	101	82	114	108	117	89	94	106	107	94	96	119
1日平均利用数	4.3(3.7)	4.0	3.7	4.4	4.3	4.5	3.7	3.8	4.4	4.7	4.3	4.4	5.4

5. 契約者状況(令和5年3月31日現在)

区 分	人 数 (人)
南福岡特別支援学校生	19 (小学部 10、中学部 6、高等部 3)
他支援学校生	1 (中学部 1)
合 計	20

6. 利用状況(各年度末時点)

項目/年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開所日数(うち土曜日)	287(84)	279(43)	242(21)
契約者数	20	22	19
年間延べ利用者数 (うち土曜日)	1227(196)	1031(94)	865(32)
一日平均利用者数	4.3	3.7	3.6

令和4年度

社会福祉法人 自立の里

障がい福祉サービス事業所 大空

事業報告

障がい福祉サービス事業所 大 空

《総 括》

継続して、感染症対策チームを中心に、日々、施設内や送迎車、法人車両の消毒や換気、職員の衛生について周知を行い、コロナ感染の対応を行った。また、職員の体調が少しでもすぐれない際は、すぐに休めるような態勢を取った。

生活介護事業については、利用者の入院や休養により、3名の方が長期に欠席となった。また、利用者家族のご逝去に伴い、グループホームに急遽入所する利用者が1名あった。特別支援学校の実習については、中等部、高等部、延べ7名を受け入れ、そのうちの2名が入所へと結び付いた。

居宅介護事業については、新型コロナウイルスの影響や利用者のグループホーム入居に伴い、サービス提供時間数は前年度と比べて少なくなった。人材の確保という面では、前年度に時給を大幅に引き上げたこともあり、令和4年度は新規ヘルパーとして3名の補充を行うことができた。

短期入所事業については、専任職員やパート職員の異動、退職もなく、安定したサービスを行うことができた。新型コロナウイルスの影響で利用のキャンセルは多かったが、前年度と比べ利用日数の増加に繋げることができた。

生活介護

1. 利用者や職員が安心安全に通える場の提供

利用者、職員共に、毎日2回の体温測定により、コロナ感染や風邪など、身体の異常を早期に発見が出来るよう努めた。日々の給食では、フェイスシールドやビニールエプロン、パーテーションの使用を、また、歯磨きやトイレ介助では手袋を使用する等、職員自身を守る為に、利用者同士の感染を防ぐためにも、様々な衛生用品を使用する等して安心安全な場所の提供が出来るよう努めた。年度の始まりの4月、利用者や職員によるコロナ感染に伴い、2日間、事業を閉鎖することとなったが、感染拡大することなく終わった。

2. 活動の幅を拡げる

年間に予定する行事については、1年を通してコロナ禍であった為、規模を縮小して行った。イベントや活動参観、個別面談等は、短時間や人数制限をする等の工夫をしながらも、例年通りに取り組めたことを利用者は喜んだ。また、コロナ前より始めた家庭菜園は、例年以上に励み、ラディッシュやそら豆、ジャガイモなどの収穫を楽しんだ。

3. 職員育成

毎月行う専門研究では、①生活介護全体②中堅職員③入職間もない職員の3つに分かれ、それぞれに必要な事柄について皆で学んだ。また、専門研究やミーティングを始める際は、毎回1分間スピーチを行い、話の起承転結や声のボリューム、言葉遣い等に配慮しをながら、人前で話すことに慣れるよう取り組んだ。外部研修では、経験年数や役職に沿った内容について職員を派遣し、講師による専門的な話を聴き、支援や介助に活かした。

参考資料



4月
佐藤様 入所式



5月
大空開所10周年



7月
久我記念館での作品展示



2月
イベント 発表会
劇 『桃太郎』

4. 月別利用実績（定員20人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数（日）	22	22	22	23	23	21
契約者数（人）	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0
平均利用者数(人)	17.1	16.6	17.8	17.9	18.3	18.2
利用率（%）	81.4	79.2	84.6	85.1	87.2	86.8

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数（日）	23	22	22	21	20	23
契約者数（人）	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	22.0
平均利用者数(人)	17.0	17.1	17.1	17.1	17.4	17.5
利用率（%）	80.7	81.4	81.4	81.6	82.9	82.8

5. 年度別利用実績

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開所日数（日）	264	266	265
契約者数（人）	21.0	20.0	20.0
平均利用者数(人)	17.4	17.4	18.1
利用率（%）	82.9	87.1	90.5

6. 土曜等のイベント状況

実施日	イベント名	内 容	参 加 利用者 (人)
4月 9日(土)	歓迎会	新規利用者1名、異動職員1名を歓迎し、自己紹介や質問をするなどして親睦を深めた。	14 / 21
5月 9日(月)	大空10周年	開所10周年を記念し、開所から今までの写真を見て皆で振り返り、10年を祝った。	16 / 21
7月 2日(土)	自治会企画 七夕飾り作り	折り紙を切り貼りして飾りを作った。また、短冊に皆で願い事を書いて笹に飾った。	19 / 21
7月 9日(土)	展覧会	テーマを『虹 ～楽しい未来～』と決め、絵画等の作品を展示した。また、『未来への翼』を使って撮影し、利用者に羽が生え飛び立ちそうなフォトを作った。	16 / 21
9月 3日(土)	コンサート	利用者の『民謡サークル』による演奏や職員のリコーダー演奏等を鑑賞した。	17 / 21
9月17日(土)	運動会	パン食い競争、借り物競争等の競技や勝敗を楽しんだ。	16 / 21
10月21日(土)	展覧会	テーマを『未来の贈り物』と決めて絵画等の作品を作り、ご家族へ披露した。	17 / 21
10月29日(土)	ハロウィン	ハロウィンをモチーフにしたフェルトをバッグに飾りつけることを楽しんだ。	15 / 21
11月19日(土)	雑貨Café MOCO CAFE	コロナ禍の為、お客様を呼ぶことやクッキングは控え、コンビニ等のスイーツを購入し、皆でC A F E体験や喫食を楽しんだ。	16 / 21
12月10日(土)	忘年会	4年度よりグループ編成が変わり、その新グループの仲間と協力をして絵のパフォーマンスをやクイズ、仮装等を楽しんだ。	16 / 21
12月28日(水)	クリスマス会	雪の為、イベントが延期となったが、年末最後の通所日に、保護者会からはクリスマスプレゼントを、あおやぎ様からはケーキを頂いた。あおやぎ様には日頃より練習するタタロチカの演奏でもてなした。	17 / 21
1月 7日(土)	書初め	新年に掲げる言葉を利用者や職員とで考え、書初めに書いた。	18 / 21

実施日	イベント名	内 容	参 加 利用者 (人)
1月28日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	コロナ禍の為、お客様を呼ぶことやクッキングは控えた。その為、スイーツを購入して販売する等し、利用者はC A F E 気分を味わった。	12 / 21
2月25日(土)	発表会	数名の利用者と職員で『桃太郎』を演じ、他の利用者へ披露した。	15 / 21
3月18日(土)	お疲れ様会	グループ対抗のレクリエーションを行い、勝敗を楽しんだ。	15 / 21

7. 健康管理実施状況

実施日	内 容	実 施 者	人数 (人)	
11月17日(木)	嘱託医訪問診察 (問診表による状態把握)	徳永クリニック (嘱託医)	利用者 21	21
11月17日(木)	インフルエンザ予防接種	徳永クリニック (嘱託医)	利用者 7 家 族 0 職 員 17	24

8. 利用者個別指導実施状況

(1) 動作法 講師：鼻地 勝人 氏

日 付	グループ
4月12日(火)	K・S グループ
5月10日(火)	S・P グループ
6月14日(火)	K グループ
7月12日(火)	S・P グループ
9月13日(火)	K・P グループ

(2) 作業療法 (OT) 講師：原田 靖子 氏

日 付	グループ
4月21日(木)	K グループ
5月19日(木)	S グループ
6月16日(木)	K グループ
7月17日(木)	S グループ
9月15日(木)	S グループ
10月20日(木)	K グループ

9. 内部研修実施状況

(1) 専門研究

実施日	研修名 及び テーマ	講師	参加人数 (人)
4月20日(火)	全体 『利用者一人ひとりの食事介助について』	内部講師	8
4月21日(木)	全体 『コロナ感染について』		8
4月21日(木)	2グループ 『会話の話題』		6
5月18日(水)	1グループ 『利用者、職員の動きや注意する点』		4
5月19日(水)	2グループ 『マスクを付けた際の表情について』		5
5月25日(水)	全体 『事業計画について』		9
6月15日(水)	1グループ 『Y様について』		6
6月21日(火)	2グループ 『お茶の入れ方』		5
6月29日(水)	全体 『虐待について』		12
7月19日(火)	2グループ 『困っていること』		5
7月20日(水)	1グループ 『S様について』		5
7月27日(水)	全体 『生活介護の運営 収支について』		6
8月18日(木)	全体 『強度行動障害の事例により学ぶ』		8
8月24日(水)	2グループ 『視覚障がい者を体験する』		4
8月30日(火)	1グループ 『S様について』		6
9月14日(水)	全体 『生活介護の運営 収支について』の意見発表		8
9月27日(火)	2グループ 『R様、M様について』		6

実施日	研修名 及び テーマ		参加人数 (人)
9月29日(木)	1グループ 『若手職員の指導について』	内部講師	5
10月20日(木)	2グループ 『顔の表情・距離感について』		5
10月25日(火)	1グループ 『部下への指導 4つのポイント』		5
11月16日(水)	全体 『収入を増やす、経費を削減する為には』		8
11月17日(木)	1グループ 『H様について』		5
11月24日(木)	2グループ 『自信をつける』		5
12月15日(木)	2グループ 『歩行介助、車椅子介助、食事介助等を受けて』		6
12月21日(水)	2グループ 『視覚障がい者を体験する』		6
1月11日(水)	2グループ 『説明力』		5
1月19日(木)	全体 『個別支援計画の考え方』		9
2月21日(火)	2グループ 『保護者との電話対応』		7
2月22日(水)	全体 『H様について』		8
3月16日(木)	全体 『リスクマネジメントとは』		10
3月23日(木)	1グループ 『事例から考える』		8
3月28日(火)	2グループ 『連絡帳について』		5

(2) 大地と合同での研修

実施日	研修名 及び テーマ	講師	参加人数 (人)
11月22日(火)	動作法 講義『症例ビデオ解説・動作法基礎知識』	鼻地 勝人 氏	2

10. 派遣研修実施状況

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数 (人)
6月14日(火)	第1回社会福祉法人経営者セミナー	福岡県社会福祉法人 経営者協議会	1
6月15日(水) 17日(金)	令和4年度 社会福祉施設役職員研修 (Zoom研修)	福岡県社会福祉協議会	1
6月30日(木)	令和4年度第1回施設長研修会及び第1回総会	福岡県知的障がい者 福祉協会	1
7月12日(火)	令和4年度ストレスマネジメント研修 (中堅職員コース)	福岡県社会福祉協議会	1
7月12日(火) 14日(木)	令和4年度新任職員研修 (Zoom研修)	福岡県知的障がい者 福祉協会	1
7月20日(水)	令和4年度ホームヘルパースキルアップ研修 視覚障がい者の理解と対応	心身障がい福祉センター	1
7月27日(水)	令和4年度サービス管理責任者更新研修	福岡県社会福祉士会	1
7月28日(木) 29日(金)	令和4年度全国社会福祉法人経営者協議会 「人事・労務管理講座」	全国社会福祉法人 経営者協議会	1
8月10日(水)	令和4年度サービス管理責任者更新研修	保健福祉振興財団	1
9月7日(水)	令和4年度障がい福祉サービス事業所向け虐待 防止研修	福岡市障がい者 基幹相談支援センター	1
9月28日(水)	令和4年度ホームヘルパースキルアップ研修 発達障がいと強度行動障がいの理解と対応	心身障がい福祉センター	1
10月7日(金)	令和4年度会計担当者研修	福岡県社会福祉協議会	1
10月18日(火)	令和4年度リスクマネジメント研修 (経営管理者コース)	福岡県社会福祉協議会	1
10月26日(水)	安全運転管理者講習	福岡県公安委員会	1
11月1日(火) 2月2日(木)	事業継続計画(BCP)策定支援研修 (Zoom研修)	福岡県社会福祉協議会	1
11月5日(土) 26日(土)	第15回自閉症スペクトラム支援者養成研修	福岡市発達障がい者 支援センター	1
11月9日(水)	「報・連・相」強化研修	福岡県社会福祉協議会	1
12月2日(金) 1月10日(火) 1月11日(水) 2月20日(月)	令和4年度福岡県相談支援従事者現任研修	保健福祉振興財団	1
1月31日(火)	令和4年度障がい者の歯と口の健康づくり講習会	福岡市口腔保健支援センター	1
2月1日(水)	令和4年度説明力向上研修	福岡県社会福祉協議会	1

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数 (人)
2月 1日(水) 8日(水)	安全運転講習	安全運転推進協会	5
2月14日(火)	第3回社会福祉法人経営者セミナー	福岡県社会福祉法人 経営者協議会	1

11. 消火・通報・避難訓練

日 程	訓練種別	参加人数 (人)	
10月17日(月)	総合訓練 (消火・通報及び避難訓練)	利用者 17	34
		職員 16	
		警備会社 1	

12. 支援参観

※ 別紙「令和4年度 支援参観ご家族アンケート」参照

13. 利用者アンケート

※ 別紙「令和4年度 利用者満足度調査アンケート」参照

日中一時支援

1. 月別利用状況

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	3	1	-	2	4	7	3	3	3	1	-	28

居宅介護

1. 業務の効率化、収益の向上

令和4年度は、年間を通して時差出勤や在宅勤務を行ってきた為、通常よりも業務の遂行が困難な一年であった。全体会議内にて業務の効率化について話し合い、全員でより効率の良い業務進行が行えるように努めた。収益の向上に関しては、新型コロナウイルス流行の影響もあり、緊急で短時間のサービス依頼が多かった為、延べ利用者数は40人程増えたが、サービス提供時間数では480時間程減り、減収した。

2. 登録ヘルパーの補充強化

年度の途中で求人情報誌による募集案内を行った結果、3名の新規ヘルパーの補充を行うことができた。また、処遇面に関しては、令和3年度に時給を大幅に引き上げていたこともあり、一年間据え置いた。

3. 人材の育成

全体会議にて利用者の身体状況や介助方法を細かく確認し合い、より良いサービスの提供に努めた。また、毎月定期的に内部研修会を実施し、職員が内部講師となって障がい分野の基礎知識やコミュニケーション技法等について学んだ。

4. 新型コロナウイルス対策の徹底

昨年度から引き続いて、新型コロナウイルス対策の一つとして在宅勤務等を行い、サービス訪問時には、手指洗浄や消毒、マスクの着用を徹底していたが、訪問先で陽性者が判明し、一部の職員も感染した。



◎ららぽーと福岡への外出



◎クリスマスイベントへの参加



◎空港にて飛行機を見学



◎博多駅前広場にて買い物

5. 利用者状況

(単位：人)

区 分	人 数
大 空	7 (男性 4、女性 3)
大 地	28 (男性16、女性12)
外 部	25 (男性14、女性11)
合 計	60 (男性34、女性26)

6. 利用状況

(1) 月別事業実績

①身体介護

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	36	35	36	36	35	35
延利用件数 (件)	406	387	397	414	421	410
延サービス時間(時間)	715.5	711.5	729.5	721.0	741.5	738.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	36	35	35	47	34	35	435
延利用件数 (件)	420	421	378	364	356	436	4,890
延サービス時間(時間)	706.5	635.0	625.5	638.5	632.0	719.5	8,314.5

②移動支援

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	22	24	20	22	24	23
延利用件数 (件)	57	70	60	53	49	52
延サービス時間(時間)	162.0	221.0	175.5	195.5	181.5	150.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	23	27	23	24	26	30	288
延利用件数 (件)	66	54	65	52	55	64	697
延サービス時間(時間)	225.0	234.0	188.0	136.0	181.0	211.0	2,261.0

③有償サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数 (人)	3	2	2	2	1	2
延利用件数 (件)	13	6	5	5	4	3
延サービス時間(時間)	14.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (人)	1	2	2	2	4	2	25
延利用件数 (件)	4	13	20	17	27	16	133
延サービス時間(時間)	2.0	15.0	37.0	26.5	32.0	29.5	168.0

(2) 年度別事業実績の推移

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実利用者数 (人)	748	711	645
延利用件数 (件)	5,720	5,701	5,714
延サービス時間(時間)	10,743.5	11,231.5	11,082.5

7. 内部研修実施状況

実施日	研修名	講師	参加者(人)
5月27日(金)	障がい福祉制度について、虐待防止研修	内部講師	12
6月22日(水)	報連相について リフレーミング講座		11
7月20日(水)	ボディメカニクスについて 電話対応の基礎知識		12
8月17日(水)	介護職における腰痛予防		10
9月28日(水)	てんかんについて		10
10月27日(木)	身体拘束等の適正化の為の指針 精神障がいの基本的な特性と対応 摂食・嚥下の基礎知識		12
12月16日(金)	強度行動障がいについて		12
1月26日(木)	感染症対策講習「福岡チャンネル」		7
2月17日(金)	移動介助の準備と介助者の心構え		11
3月15日(水)	ヒヤリハット研修		9

8. 派遣研修実施状況

実施日	研修名	研修実施者	参加者(人)
5月17日(火) 5月19日(木)	社会福祉施設役職研修新任研修	福岡県社会福祉協議会	1
7月6日(水)	ストレスマネジメント研修	福岡県社会福祉協議会	1
7月27日(水)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
8月2日(火)	福岡県サービス管理責任者更新研修	保健福祉振興財団	1
8月11日(木)	てんかん総合講座	日本てんかん協会	1
9月13日(火)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	2
9月28日(水)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡県社会福祉協議会	1
10月24日(月) 10月26日(水)	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員コース)	福岡県社会福祉協議会	1
1月31日(火)	福岡県サービス管理責任者更新研修	保健福祉振興財団	1

短期入所

1. 衛生管理や安全を徹底したサービスの提供

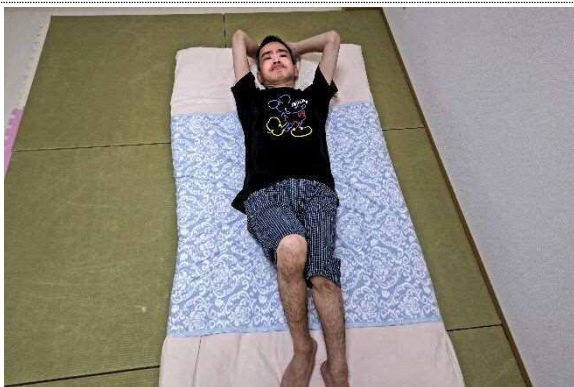
【実績】

コロナウイルス対策として、室内の消毒や換気等をこまめに行い、感染症対策に注意をしてサービスの提供を行ったが、利用者1名職員1名の感染者がでた。また、清潔な空間を保つ為、加湿器等の備品の整備を行った。年間を通して利用者・家族が安心できるようなサービスの提供に努めた。

2. 利用日数の増加及び収益の向上

【実績】

積雪や台風、コロナウイルスによる影響で、利用のキャンセルが年間を通して一定数発生した。利用のキャンセルや空きが出た場合は、積極的に他の利用者を案内し、昨年度から66件・61日の増加に繋がった。



◎居室内でリラックスしている様子



◎テレビゲームを楽しんでいる様子



◎夕食時の様子



◎談話室で団らんしている様子

3. 利用状況

(単位：件)

区 分		男 性		女 性		合 計	
4 月	1泊2日	25		18		43	
	2泊3日	6		1		7	
	3泊4日						
	4泊5日	1	32		19	1	51
5 月	1泊2日	31		15		46	
	2泊3日	4		5		9	
	3泊4日	2				2	
	5泊6日	1	38		20	1	58
6 月	1泊2日	32		18		50	
	2泊3日	5	37	4	22	9	59
7 月	1泊2日	33		17		50	
	2泊3日	3	36	3	20	6	56
8 月	1泊2日	33		17		50	
	2泊3日	1		3		4	
	3泊4日	2	36	1	21	3	57
9 月	1泊2日	30		15		45	
	2泊3日	3		4		7	
	3泊4日		33	1	20	1	53
10 月	1泊2日	34		13		47	
	2泊3日	5		5		10	
	3泊4日	1	40	1	19	2	59
11 月	1泊2日	36		16		52	
	2泊3日	5		5		10	
	3泊4日	1	42		21	1	63
12 月	1泊2日	28		13		41	
	2泊3日	3		3		6	
	3泊4日	1	32	2	18	3	50
1 月	1泊2日	33		17		50	
	2泊3日	2		4		6	
	3泊4日	1	36		21	1	57
2 月	1泊2日	32		12		44	
	2泊3日	6		4		10	
	3泊4日		38	1	17	1	55

区 分		男 性		女 性		合 計	
3 月	1泊2日	34	41	12	16	46	57
	2泊3日	6		4		10	
	3泊4日	1				1	
合 計	1泊2日	381	441	183	234	564	675
	2泊3日	49		45		94	
	3泊4日	9		6		15	
	4泊5日	1				1	
	5泊6日	1				1	
月間平均利用者数		36.7		19.5		56.2	

4. 利用者の利用状況

(単位：人)

区 分	男 性	女 性	合 計
大 地	297	149	446
大 空	125	85	210
外 部	19	—	19
合 計	441	234	675

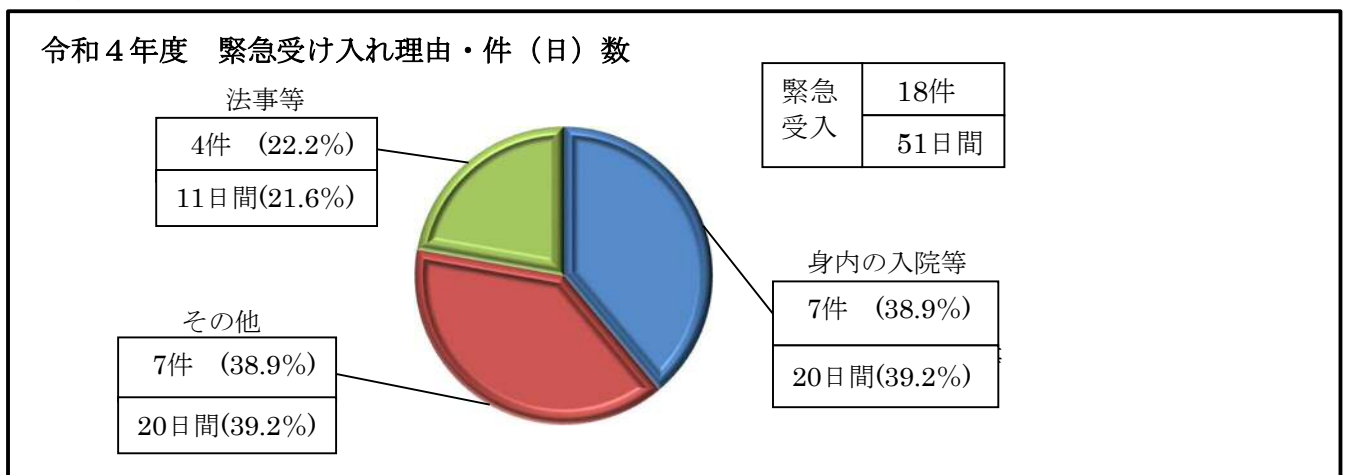
5. 利用状況の推移 (令和2年度～令和4年度)

(単位：件)

宿泊日数	4年度		3年度		2年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1泊 2日	381	183	291	175	232	144
	564 (1,128日)	(932日)	466 (932日)	(752日)	376 (752日)	
2泊 3日	49	45	84	31	108	19
	94 (282日)	(345日)	115 (345日)	(381日)	127 (381日)	
3泊 4日	9	6	20	3	17	3
	15 (60日)	(92日)	23 (92日)	(80日)	20 (80日)	
4泊 5日	1	0	2	0	2	2
	1 (5日)	(10日)	2 (10日)		4 (20日)	
5泊 6日	1	0	0	0	0	0
	1 (6日)		0		0	
6泊 7日	0	0	0	0	0	0
	0		0		0	
7泊 8日	0	0	0	2	0	0
	0		2 (16日)		0	

宿泊日数	4年度		3年度		2年度			
11泊 12日	男性	0	0	男性	1	男性	1	
	女性	0		女性	0 (12日)	女性	0 (12日)	
12泊 13日	男性	0	0	男性	0	男性	0	
	女性	0		女性	1 (13日)	女性	0	
17泊 18日	男性	0	0	男性	0	男性	1	
	女性	0		女性	0	女性	0 (17日)	
合計	男性	441	675 (1,481日)	男性	397	609 (1,420日)	男性	361
	女性	234		女性	212		女性	168
	内 緊急受入れ		18 (2.7%)		内 緊急受入れ		25 (4.1%)	
月間平均	56.2		50.8		44.1			

6. 緊急受け入れ



7. 派遣研修実施状況

実施日	研修名	研修実施者	参加者(人)
11月 8日 (火)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
12月22日 (木)	福岡県サービス管理責任者実践研修	福岡県社会福祉士会	1
12月23日 (金)			

8. 職員の勤務状況

(単位：回)

月	夜間勤務			宿直勤務			日中勤務（土、日、祝）			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
4月	17	8	25	15	7	22	8	2	10	40	17	57
5月	18	10	28	15	6	21	8	6	14	41	22	63
6月	18	11	29	12	7	19	12	4	16	42	22	64
7月	17	10	27	11	5	16	5	3	8	33	18	51
8月	19	11	30	12	6	18	6	5	11	37	22	59
9月	15	10	25	11	7	18	9	4	13	35	21	56
10月	17	10	27	14	6	20	9	3	12	40	19	59
11月	19	11	30	13	4	17	6	4	10	38	19	57
12月	14	10	24	11	6	17	8	2	10	33	18	51
1月	14	10	24	13	7	20	5	2	7	32	19	51
2月	16	10	26	12	6	18	6	4	10	34	20	54
3月	21	8	29	12	4	16	8	4	12	41	16	57
合計	205	119	324	151	71	222	90	43	133	446	233	679
月間平均	17.1	9.9	27.0	12.6	5.9	18.5	7.5	3.6	11.1	37.2	19.4	56.6

※夜間（17時～9時）・宿直（19時～9時）勤務は1泊2日で1回。日中（9時～18時）勤務は、1日で1回。